

デュピクセント®の治療生活はサポートが充実



自己注射の方法や、治療費に関するご質問など、わからないことがあればデュピクセント®相談室へお電話ください！



こちらから
予約も
できます

デュピクセント®相談室

フリーダイヤル



0120-50-4970

ゴ - ヨクナレ

1 操作方法へのご質問
24時間365日

2 医療費助成制度へのご質問
平日・土 9:00~21:00
(日・祝休み)

※2でご提供するサービスは医療費助成制度をもととした医療費の目安をご案内するもので、医療行為や治療内容に関するご相談に対応するものではありません。また、医療費助成については自治体ごとに異なりますので、お住まいの市区町村へお問い合わせください。

※デュピクセント®相談室では、応対品質の向上を目的として通話を録音しています。あらかじめご了承ください。

デュピクセント®を
使用される患者さん向け
ウェブサイト



<https://www.support-allergy.com>

デュピクセント®の使い方・Q&Aなど
治療に役立つ情報を紹介しています。

デュピクセント®を
使用される患者さんの
ためのアプリ

myway

リマインダー機能や注射ガイドで
患者さんの治療生活をサポートします。

サノフィ株式会社
〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

リジェネロン・ジャパン株式会社
〒105-5518
東京都港区虎ノ門二丁目6番1号

デュピクセント®を ぜんそく 使用される喘息患者さんと そのご家族へ

【監修】 国立病院機構相模原病院
特任院長補佐（臨床研究担当） / 特任研究部長
谷口 正実 先生



English



Please scan the QR code
for this material in English.

sanofi | REGENERON

はじめに

気管支喘息は、空気の通り道である気道（気管支）に慢性的な炎症が起こる病気です。咳やゼーゼー・ヒューヒューという喘鳴、息苦しさを伴う発作などが特徴で、特に夜間や早朝に出やすい傾向があります。

症状がないときは一見すると元気なようですが、発作時には呼吸が困難になるほど苦しく、ご本人にとってはとてもつらい病気です。さらに、発作や症状への不安が精神的な負担となり、日常生活や仕事にも支障を及ぼします。

こうした中、過剰な免疫反応に関わる炎症の存在がぜん息の症状を引き起こすことが明らかになりました。

「デュピクセント®」は、この過剰な免疫反応に関わる炎症のはたらきを抑えて効果を発揮する生物学的製剤です。

この冊子では、デュピクセント®の使い方などを紹介しています。ぜん息の症状や経過は人によって異なりますので、ご不明な点は主治医や看護師、薬剤師にご相談ください。

国立病院機構相模原病院
特任院長補佐（臨床研究担当） / 特任研究部長
谷口 正実 先生

本冊子では、気管支喘息をぜん息と記載しています。

CONTENTS

〈ぜん息とは〉	
ぜん息の日常生活への影響	4
治療目標を立てましょう	6
あなたの気道で起こっていること	8
〈デュピクセント®とは〉	
デュピクセント®のはたらき	10
デュピクセント®に期待できること	11
デュピクセント®の適応となる患者さん	12
デュピクセント®による治療における注意点	13
デュピクセント®の主な副作用	14
〈治療の進め方・方法〉	
デュピクセント®について	16
デュピクセント®の投与スケジュール	17
デュピクセント®は自己注射も選択できます	18
自己注射に関するよくあるご質問	20
他のアレルギー性疾患をお持ちの方への注意点	21
〈サポート情報〉	
サポート資料のご紹介	22
医療費助成制度について知っておきましょう	24
「MyWay」アプリのご紹介	26

あなたのぜん息は、日常生活にこのような支障を与えていませんか？

- 夜間・早朝の発作でよく眠れない



- 少しの刺激でも息苦しくなる



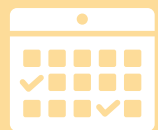
家庭で

- 発作が治まらず救急受診で入院した

- 旅行などのイベントをあきらめた



趣味やイベントで



- 静かな場所で咳が止まらなくなる



- スポーツによって発作が出てしまう

デュピクセント®の適応となる患者さん

既存治療によってもできない重症または

詳細はP12

ぜん息症状をコントロール難治の6歳以上の方

- ぜん息で仕事や勉強に集中できない



会社・学校で

- 特に季節の変わり目に急な発作によって欠勤してしまう



- 発作後の不調で仕事や学校を休みがちになってしまう

気持ちの面でも



- いつ発作が起きるか恐ろしくて不安



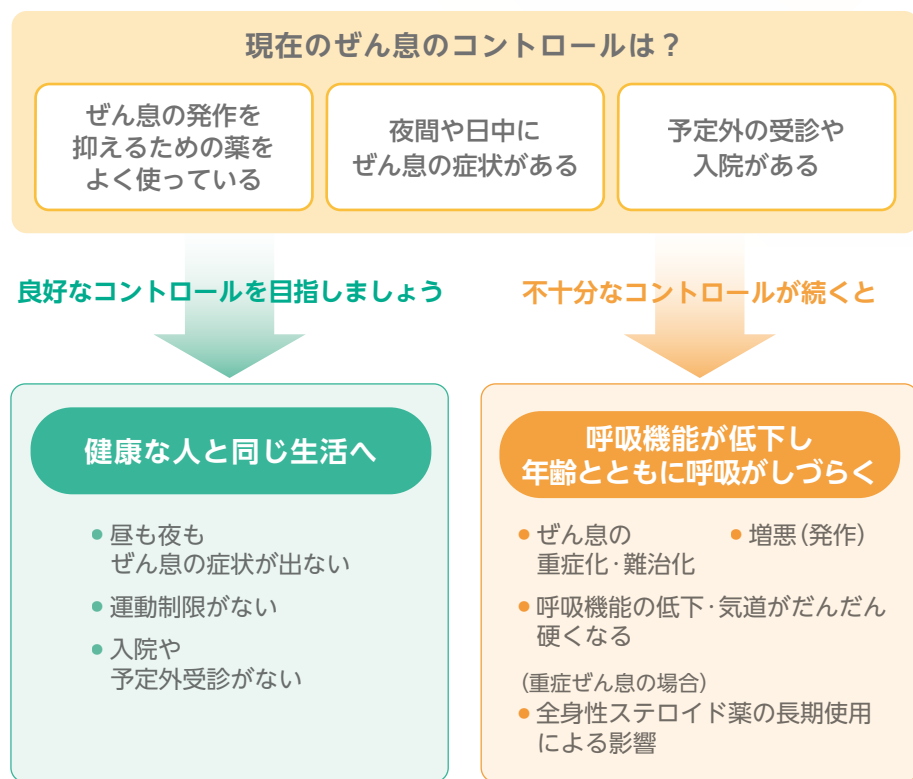
- ぜん息が悪化していくことへの将来的な不安



- 家族にぜん息のつらさをわかってもらえない

今の症状をしっかりコントロールすることが将来の健康にもつながります

ぜん息は、不十分なコントロールが長い間続くと将来的に発作が起こりやすく、呼吸機能が少しずつ低下してしまうことがあります。「今つらくないから大丈夫」と思わず、将来の健康も考えて、日々の症状をしっかり管理していくことがとても大切です。



呼吸機能とは？ 身体に十分な酸素を届けるために空気を吸い込み、しっかり吐き出す力のこと

医師と相談し、治療の目標を立てましょう

ぜん息の症状を理由に現在、そして将来やりたいことをあきらめてしまわないためにも、それぞれの目標を立て、それらを実現できるような治療法について主治医と相談してみましょう。

例えば・・・

- 朝までぐっすり眠れる
- 仕事・勉強・スポーツに集中できる
- 予定外受診がない
- ぜん息が原因の急な予定のキャンセルがない
- 旅行など趣味を思いっきり楽しむ
- 健康寿命を保ち、生き生きと過ごす



現在	あなたの目標	将来
	<div style="border-left: 1px dashed orange; border-right: 1px dashed orange; height: 100%;"></div>	

あなたの気道で起こっていること

ぜん息は、空気の通り道（気道）に炎症が起きることで、咳やたんが出たり発作が起きたりする病気です。ぜん息では、「2型炎症」と呼ばれる免疫の炎症反応が主に関係していて、アレルギー体質とも深く関わっています。

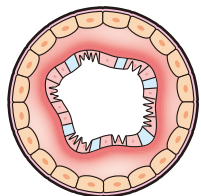
本来、免疫による炎症反応は身体を守るためにはたりますが、2型炎症では、細菌や刺激など本来それほど害のないものにも身体が過剰に反応してしまいます。



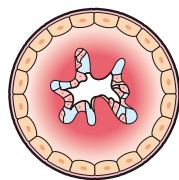
イメージ図

炎症があり、少しの刺激でも過敏に反応しやすくなっている

さらに炎症を起こし、気道が狭くなり、空気の通りが悪くなる



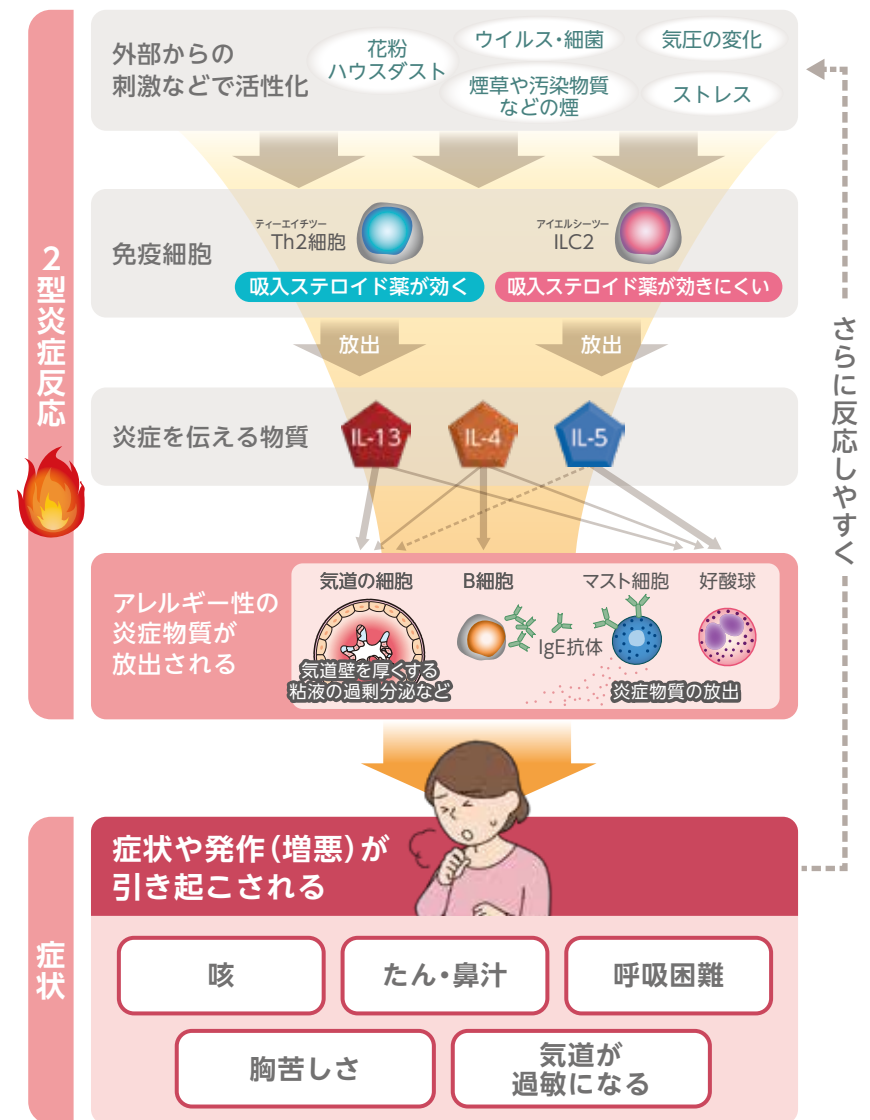
発作がないとき



発作があるとき

TIPS

もっと詳しく知りたい 気道炎症が起こる仕組み (イメージ図)



さらに反応しやすくなる

症状

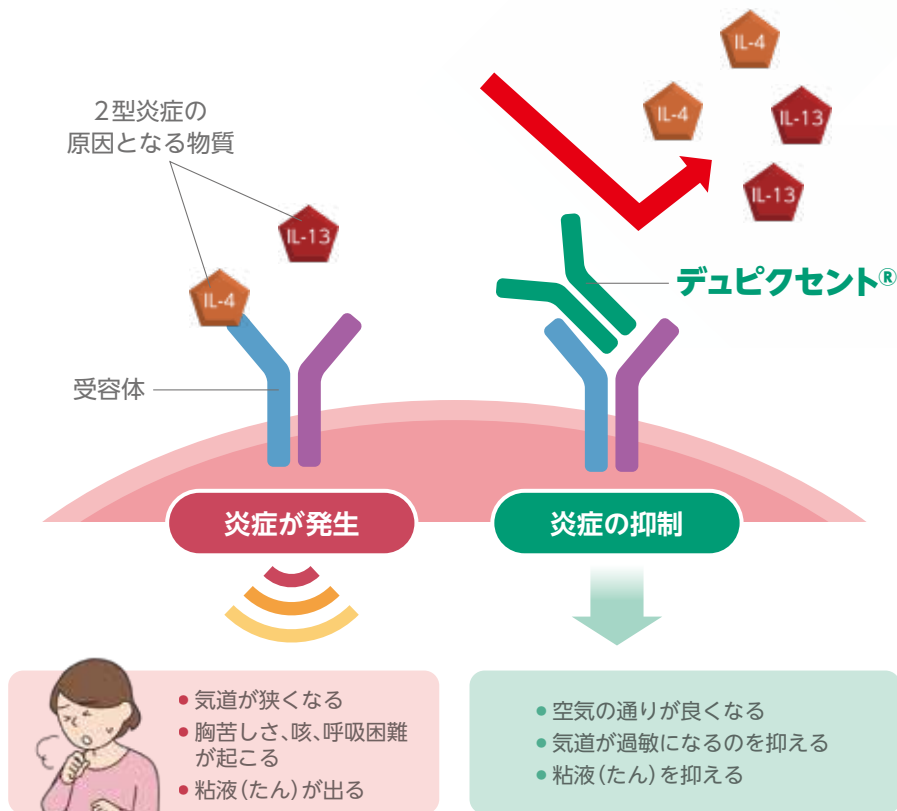
症状や発作(増悪)が引き起こされる

- 咳
- たん・鼻汁
- 呼吸困難
- 胸苦しさ
- 気道が過敏になる

奈邊健. 日本薬理学雑誌. 2022; 157: 299-304、伊東繁. アレルギー. 1989; 38: 1077-1083、Howell I et al. J Exp Med 2023; 220: e20221212、Israel E et al. N Engl J Med 2017; 377: 965-976、Brusselle GG et al. N Engl J Med 2022; 386: 157-171より作図

デュピクセント®のはたらき

デュピクセント®は2型炎症の原因となる物質が受容体に結合するのを防ぎます。それにより、IL-4・IL-13の両方のはたらきを止める作用があります。この結果、ぜん息の原因のひとつである2型炎症が抑えられ、ぜん息の症状が改善されることが期待できます。



TIPS

ぜん息だけでなく、アトピー性皮膚炎や鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎などの併存症に「2型炎症」が関連しています

近年のぜん息治療では症状を改善することはもちろん、鼻の症状をはじめとするさまざまな併存症もマネジメントすることが患者さんの生涯にわたる生活の質(QOL)に重要であると考えられています。

デュピクセント®に期待できること

デュピクセント®の治療によって呼吸機能の改善、咳・たんなどのぜん息症状、発作頻度を減らすことが期待できます。症状や発作を引き起こす炎症を抑えることは、日常のさまざまな刺激や原因物質に過敏に反応しにくくなることにもつながります。

ぜん息に対して期待できる効果

- 咳・たん・息切れなどの症状の改善
- 発作頻度を減らし、経口ステロイド薬の減量
- 呼吸機能の改善

また、デュピクセント®は気道炎症が関与する鼻症状に対しても効果が認められており、それにより気道全体の呼吸機能改善が期待できます。

鼻症状に対して期待できる効果

- 鼻づまりを改善する効果
- 匂いのわかりにくさを改善する効果
- 鼻水を改善する効果
- はなたけ鼻茸(鼻ポリープ)を小さくする効果



デュピクセント®の適応となる患者さん

既存治療でぜん息症状をコントロールできない
重症または難治の6歳以上の方

- 中～高用量の吸入ステロイド薬に加えて、
その他のぜん息治療薬を使っている

+

- 下記のいずれかに該当している
 - ぜん息をコントロールできていない
 - 経口ステロイド薬を頻回に使用しており、中止できない



以下の方には使用できません

デュピクセント®に含まれる成分に対して、アレルギー反応を起こしたことのある方



投与において注意が必要な方

- 生ワクチンを接種する予定のある方
- 寄生虫感染のある方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方、授乳中の方

デュピクセント®による治療における注意点



デュピクセント®を開始したあとも、
長期管理薬を続けてください。

- これまで使用してきた長期管理薬は継続して、デュピクセント®の治療を追加します。
- デュピクセント®は発作治療薬(リリーバー)ではありません。継続して使う必要があります。ぜん息発作が起こったときは、主治医の指示に従ってください。
- 長期にわたって経口ステロイド薬を服用している場合、自己判断で急に中止してはいけません。減量が必要な場合、主治医に相談しましょう。

デュピクセント®の治療が始まってから、
症状が悪化したり、
体調が変わったりしたときは
必ず主治医に相談しましょう。



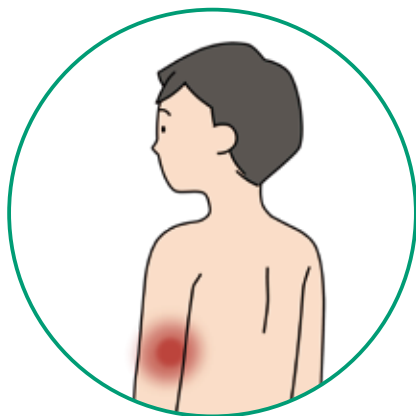
デュピクセント®の主な副作用

デュピクセント®の投与により、副作用が起こることがあります。副作用があらわれた場合には、すみやかに主治医または看護師、薬剤師にお伝えください。

予想される主な副作用

注射部位反応

注射をした後に、注射をした部位（腕やおなか、太もも）に、痛みが生じたり、赤く腫れたり、かゆくなったり、出血したりすることがあります。



赤くなる、腫れる



かゆくなる

次のような症状が起こることもあります。
もし起こった場合は、すぐにかかりつけのお医者さんに相談しましょう。

アナフィラキシー反応による症状

一般的に、お薬を投与してすぐに起こる過敏反応で、次のような症状があらわれます。

- めまい、ふらつき、立ちくらみ、だるさ、意識の低下 など
- 呼吸困難、呼吸時に「ゼーゼー」音がする など
- 腹痛、吐き気、嘔吐 など
- 皮膚のかゆみ、赤み、腫れ、全身の発疹 など
- くちびる、舌の腫れ など

日本アレルギー学会：アナフィラキシーガイドライン2022（第1版）、メディカルレビュー社、2023、p.2、17、18より作成

好酸球数の増加による症状

デュピクセント®の投与により、患者さんによっては、血中の好酸球数が一時的に増加することがあります。好酸球がわずかに増えただけでは、症状があらわれることは通常はありませんが、ときに次のような症状があらわれることがあります。

- 発疹、むくみ など
- 咳、発熱、だるさ、息切れ、呼吸困難、呼吸時に「ゼーゼー」音がする、血痰（血液の混じった痰） など
- 動悸、息苦しさ など
- 手足のしびれ、麻痺（動きが悪くなる） など

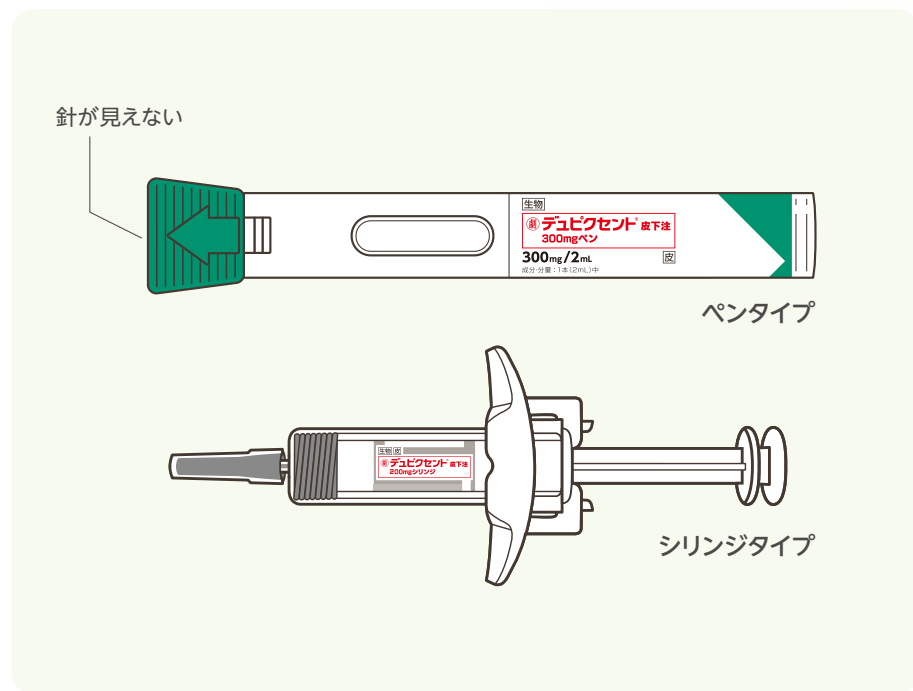
急性汎発性発疹性膿疱症

デュピクセント®の投与により、急性汎発性発疹性膿疱症が現れることがあります。

- 発熱
- 皮膚が広い範囲で赤くなる
- ところどころに小さな膿を伴う発疹
- が出る
- など

デュピクセント®について

- 針が見えない自動注射器「ペン」と、「シリンジ」の2つの種類があります。
- 医師の判断のもと、患者さんご自身やそのご家族が注射を行う自己注射も可能です。



デュピクセント®の投与スケジュール

- 成人には固定用量で皮下投与します。
- 6歳以上12歳未満の小児の患者さんには、体重に応じて決められた用法及び用量で皮下投与します。



年齢	体重区分	剤形と投与量	投与スケジュール 小児には4週間隔と2週間隔の投与があります。
成人	固定用量	初回用量 600mg 1回 300mg 300mgシリンジまたは300mgペンを使用します。	
		初回用量 600mg 1回 300mg 300mgシリンジまたは300mgペンを使用します。	
小児	12歳以上	固定用量 初回用量 600mg 1回 300mg 300mgシリンジまたは300mgペンを使用します。	
	6歳以上12歳未満	30kg以上 初回用量 200mg 1回 200mg 200mgシリンジまたは200mgペンを使用します。	
	15kg以上30kg未満	初回用量 300mg 1回 300mg 300mgシリンジまたは300mgペンを使用します。	

デュピクセント[®]は医療機関での投与に加えて、在宅での自己注射も選択できます

- 自己注射の利点は、通院にともなう時間的な制約や負担が軽減でき、ご自身のスタイルに合わせて治療できることです。
- 通院日を調整できるので、仕事や旅行などの活動範囲が広がります。



自己注射をはじめるには

デュピクセント[®]の自己注射は、まずは医師や看護師の指導のもとに医療機関で練習します。そして注射が正しくできるようになったことを医師や看護師に確認してもらい、許可が出てから自己注射に移行します。

自己注射の方法をもう一度聞きたいときは

デュピクセント[®]は、使用する患者さんの疑問や不安にお応えするためのコールセンターやウェブサイトが24時間活用できます。

- ▶ 自己注射の方法は動画でも確認できます (P23)

通院タイミングのイメージ

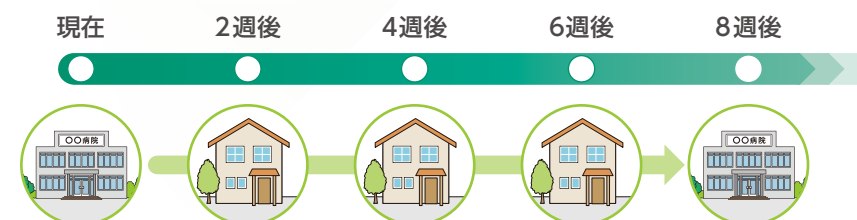
通院のタイミングはぜん息のコントロール状況にもよりますので、先生にご相談のうえ設定してください。

2週おきに通院する場合



- こんなあなたは医療機関での投与がおすすめ
 - 医師との定期的な相談を大切にしたい
 - 自分で注射するのは少し怖い

ご自宅での自己注射の場合



- こんなあなたは自己注射がおすすめ
 - 仕事や学校、プライベートの時間を大切にしたい
 - 医療機関まで距離が遠くて通院が大変
 - 感染症の流行期は、できるだけ外出を控えたい

自己注射に関するよくあるご質問

Q 注射予定日に注射するのを忘れてしまいました。どうすればよいですか？

A 主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。

Q 何時ぐらいに注射するのがよいのでしょうか？

A 注射時間に特に決まりはありません。ご都合のよい時間帯に注射してください。

Q 注射予定日に旅行や出張が重なってしまいました。どうしたらよいですか？

A 注射予定日に外泊することがわかったら、あらかじめ主治医に相談してください。

Q 経済的な負担を軽減する方法はありますか？

A さまざまな医療制度を上手に活用することで、経済的な負担を軽くできる場合があります。P24、25をご参照ください。



他のアレルギー性疾患をお持ちの方への注意点

デュピクセント®の投与により、ぜん息以外のアレルギー性疾患の症状が変化する可能性があります。そのため、デュピクセント®の投与から中止した後まで合併するアレルギー性疾患の主治医と連携をしながら治療を進める必要があります。

- アレルギー性疾患や2型炎症性疾患（アトピー性皮膚炎、慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、じんましん、慢性閉塞性肺疾患など）を合併している場合は、デュピクセント®を処方した医師に必ずお伝えください。また合併するアレルギー性疾患の主治医にも、デュピクセント®を使用していることを必ずお伝えください。
- **自己判断でこれらの疾患の治療薬を減量・中止せず、必ず主治医の指示に従ってください。**



ぜん息の主治医



ぜん息以外のアレルギー性疾患の主治医

ぜん息以外のアレルギー性疾患をお持ちの方用 ポケットカード

デュピクセント®の治療開始後は、右のカードを切り取って必要情報を記入し、アレルギー性疾患の主治医にご提示ください。

点線に沿って切り取ってください。▶

ぜん息以外のアレルギー性疾患の治療を受けられている患者さんとそのご家族へ
ぜん息以外のアレルギー性疾患の治療を受けられている患者さんとそのご家族は、裏面をアレルギー性疾患の主治医にご提示ください。

デュピクセント®投与開始日： 年 月 日

デュピクセント®の投与を受けている

病院名：

担当医師名：

病院の連絡先：

これからデュピクセント®をはじめる患者さんのためのサポート資材

スターキット

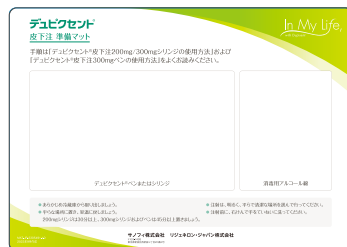
デュピクセント® 自己注射のためのガイドブック



デュピクセント® 治療日誌



準備マット



専用保冷バッグ

お薬を持ち運ぶための保冷機能がついたバッグです。

廃棄バッグ

使用済みの注射器を廃棄するための専用のバッグです。

ぜん息以外のアレルギー性疾患の治療を行っている医師の方へ

この患者さんは、ぜん息治療のためにデュピクセント®の投与を受けることになりました。デュピクセント®はIL-4、IL-13の受容体への結合を抑制するモノクローナル抗体製剤で、本剤の投与により、ぜん息以外のアレルギー性疾患の症状に影響を及ぼす可能性があります。患者さんまたはそのご家族が自己判断で、ぜん息以外のアレルギー性疾患の治療薬を減量、中止しないようご指導ください。

ぜん息以外のアレルギー性疾患をお持ちの方 ポケットカード

デュピクセント®の治療開始後は、左のカードを切り取って必要情報を記入し、アレルギー性疾患の主治医にご提示ください。

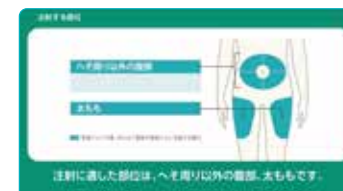
◀ 点線に沿って切り取ってください。

サポートツール



自己注射ビデオガイド

自己注射の方法・Q&Aを動画でわかりやすく解説しています。



保護者のためのビデオガイド

保護者がお子様注射する投与方法を、動画でわかりやすく解説しています。



お役立ちツール

治療日誌や、注射を飛行機に持ち込む際の薬剤携行証明書などをダウンロードできます。



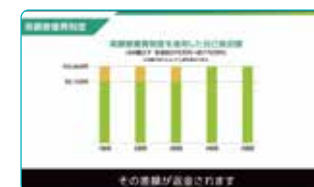
治療費シミュレーション

デュピクセント®の薬剤費の目安や高額療養費制度を利用した場合のシミュレーションをご覧ください。



医療費助成制度についての動画

動画でわかる「知っておきたい医療費の助成制度」



税金の軽減、自治体からの助成、健康保 さまざまな制度を利用できる場合があります

ぜん息の治療にかかる医療費や、自己負担額を軽減する制度

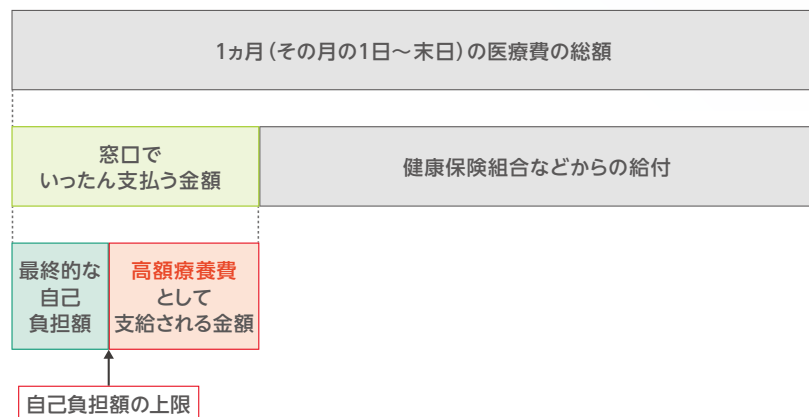
高額療養費制度

医療制度

1ヵ月(その月の1日～末日)の間に医療機関の窓口で支払うべき額(自己負担額)が一定の金額を超えることになった場合、自己負担額に上限が設けられる制度です。上限額は、年齢や世帯の所得により異なります。

▶ お問い合わせ先:ご加入の保険者(健康保険組合など)

高額療養費制度のしくみ



「多数回該当」制度のしくみ

医療制度

継続して高額な医療を受ける必要のある方には、自己負担上限額がさらに引き下げられる制度があります。

直近12ヵ月以内に3回以上高額療養費制度の適用を受けた場合(「多数回該当」といいます)、4回目以降の月の自己負担の上限額がさらに引き下げられます。



高額療養費制度を利用するにあたり、マイナンバーカードを健康保険証として使っていない場合は、あらかじめ「限度額適用認定証」を交付してもらう必要があります。加入している健康保険の窓口にご相談ください。

険組合からの支給など、 あります。

について気になることがあれば、医師に相談してみましょう

医療費控除

所得税 / 確定申告

生計を一にする家族が1年間(1月1日～12月31日)で支払った医療費の総額が10万円*を超えると、医療費控除を受けることによって、所得状況に応じた還付金を受け取ることができます。

医療費控除を受けるためには、「医療費控除の明細書」を、所得税の確定申告書に添付して最寄りの税務署に提出する必要があります。

▶ お問い合わせ先:最寄りの税務署

医療費控除額の計算方法

$$\left(\begin{array}{l} 1年間に支払った \\ 医療費の総額 \end{array} - \begin{array}{l} 保険金などで \\ 補てんされる金額 \end{array} \right) - 10万円* = \text{医療費控除額}$$

*総所得金額などが200万円未満の方は総所得金額などの5%

付加給付制度

健康保険組合などの独自制度

ご加入の公的医療保険によっては、高額療養費制度に上乘せる独自の「付加給付」として、月間の自己負担上限額がさらに低く設定されている場合があります。

▶ お問い合わせ先:ご加入の保険者(健康保険組合など)

薬剤費の目安は、二次元コードからもご覧いただけます

デュピクセント®の薬剤費の目安や高額療養費制度を利用した場合のシミュレーションをご覧ください。



治療生活の 新しいパートナー 「MyWay」アプリ

デュピクセントを使用される患者さんのためのアプリ「MyWay」が登場。注射や費用についての疑問解消、予定管理もこれひとつ。安心して治療を続けられるように、いつでも手もとでサポートします。



-  自己注射のリマインダー
-  自己注射ガイド
-  治療日誌
-  学習コンテンツ
-  身の回りの環境情報
-  お問い合わせ



「MyWay」アプリのはじめ方

STEP 1

アプリをダウンロード ▶▶▶



myway

STEP 2

登録コードを入力

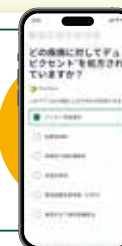
4 9 7 0 0 6



STEP 3

アカウントを作成

メールアドレスとパスワードを設定し、デュピクセントの処方内容を入力してください。



登録完了

さあ、はじめよう!

